

平成29年度北杜市事務事業外部評価の評価結果について

1. 目的 市が実施する事業の必要性や実施方法等について、庁内で実施している事務事業評価に加え、外部からの視点で事業の検証を行うことによる「改革力の強化」と評価の過程をオープンにすることによる「事業見直し過程の見える化」を行い、スリムで効率的な行政運営を推進するとともに、事業に対する行政の説明責任を徹底し、「職員の意識改革」を図るため、実施しました。
2. 実施方法 北杜市行政改革推進委員会委員がコーディネーター及び評価人として参加し、コーディネーターによる進行の下、評価人は市職員から事業説明を受け、質疑応答や議論を行った上で、評価を行いました。
3. 実施日 平成29年11月12日（日）

| 事業番号 | 事業名 | 担当課 | 評価人の意見・評価 |
|------|---------------------------|----------|--|
| 1 | 南アルプス世界自然遺産登録事業 | 観光課 | <ul style="list-style-type: none"> ・指標（活動指標、成果指標）について、具体的に事業目的の達成状況がより分かるものにブラッシュアップ※1していただきたい。 ・ユネスコエコパークの機能である「保存機能」、「経済と社会の発展」、「学術的研究支援」を向上し、満たすための取組は重要であるが、重点を絞るなどのメリハリの効いた選択と集中が必要である。 ・ユネスコエコパークの認知度を向上させるため、対象をエコパークエリア2地域（白州町、武川町）としたものや市全域としたものなど、認知度を向上させるターゲットに応じたPR活動を徹底することが、事業見直しの一つの核になると思われる。 |
| 2 | 中学生海外交流事業 | 教育総務課 | <ul style="list-style-type: none"> ・公費の投入にふさわしい目的の設定、あるいは、海外に行かなかった他の生徒への波及効果も含め、事業の重要性、価値を明確にする必要がある。また、事業の目的、成果を計る指標をしっかりと定めていただきたい。 ・本当に行きたい生徒など潜在的なターゲットにも届くような仕組みづくり、また、ニーズ調査の上、事業の意義や目的を再度しっかりと探っていただきたい。 ・類似事業とのすみ分けについて、それぞれの事業のねらいが異なることを明確にする必要がある。また、すみ分けが困難であるならば、類似事業との統合も含めた事業の見直し、調整を行う必要がある。 |
| 3 | 介護予防・生活支援サービス事業【介護保険特別会計】 | 介護支援課 | <ul style="list-style-type: none"> ・サービスを受ける側の視点に立ち、市としてどのように支えていくのかという観点から、総合的なマネジメントが必要である。 ・担い手の不足について、核となるボランティアの周辺に存在する潜在的な（担い手となりうる）方々に拡げなければ、担い手は拡大しない。潜在的な方々に届くようなPR体制を整えるとともに、ボランティアの声を聞く中で検討していただきたい。 ・ボランティア活動を行うことによるポイント等を上乘せするなど、ボランティアのインセンティブ※2が働く仕組みを検討することにより、全体的なコストが抑えられるのではないか。 ・職員体制を維持しつつ、ボランティアも含め、関わる方々の質や専門性について、たゆまない向上の努力の配慮、制度設計について、不断の見直しをしていただきたい。 |
| 4 | 乳幼児専門チームによる健診事業 | ほくとっこ元気課 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長と身体異常の早期発見を事業の大きな位置づけとしながら、今後の事業見直しにあたっては、未受診者に対するきめ細かいフォローの水準を今後も維持しつつ、虐待や産後うつなどのシグナルの把握についても、引き続き強化していただきたい。 ・健診の対象児が第1子や第2子であったり立場が異なるため、そうした異なる立場や経験に対して、利用者目線できめ細やかな支援をより一層充実していただき、安心感を与えられるような仕組みに磨いていただきたい。 |

※1 ブラッシュアップ…改良、改善

※2 インセンティブ…やる気を起こさせる、目的を達成させるため、人に対して行動を促す動機付け